Racket Strings and Topspin

Geoff MACDONALD* (Translation: Yoshihiko KAWAZOE**)

* Journalist from The New York Times
** Department of Human-Robotics, Faculty of Engineering, Saitama Institute of Technology

本稿は2011年1月22日のニューヨークタイムズ（The New York Times）のテニスブロガ「ストレートセット（Straight Sets）」に掲載されたマクドナルド氏の記事を翻訳したものである。

1970年代に、アルゼンチンのギレルモ・ヴィラスがあるブランドのテニスガットを宣伝してい
1970年代に、アルゼンチンのギレルモ・ヴィラスがあるブランドのテニスガットを宣伝して
ている広告が存在した。その広告はテニス雑誌に掲載され、おそらく彼自身の言葉という真実感
ている広告が存在した。その広告はテニス雑誌に掲載され、おそらく彼自身の言葉という真実感
を持たせるために、ぎこちないブロックンイングリッシュで書かれていた。その広告は、私の
を持たせるために、ぎこちないブロックンイングリッシュで書かれていた。その広告は、私の
友人にとっても私自身にとってもかなり滑稽だったのでよく覚えている。

Friend Tennis誌とTennis誌の両方に掲載され
Friend Tennis誌とTennis誌の両方に掲載され
たその広告の中で、ヴィラスは「ボールにス
たその広告の中で、ヴィラスは「ボールにス
ピンをかけられるよ」と言っていた。「このガ
ピンをかけられるよ」と言っていた。「このガ
ットを使うと、思い通りにボールが飛ぶ」と
ットを使うと、思い通りにボールが飛ぶと

しかし皮肉なことに、1977年のクレーコート
しかし皮肉なことに、1977年のクレーコート
でのヴィラスの53連勝記録は、ボールを打つ音を出さずに熟練的なトップスピンを生み出す。
でのヴィラスの53連勝記録は、ボールを打つ音を出さずに熟練的なトップスピンを生み出す。
スパゲッティ・ガットと呼ばれる魔のガットバ
スパゲッティ・ガットと呼ばれる魔のガットバ
ーターンによって破られることとなった。
ーターンによって破られることとなった。
ボール
ボールが不自然にパウンドしたり、空中でのカーブや軌道の変化が見られることも報告されている。
が不自然にパウンドしたり、空中でのカーブや軌道の変化が見られることも報告されている。
ラケットの横糸に二重にガットを巻くことによ
ラケットの横糸に二重にガットを巻くことによ
って、ショットに従来よりも強いスピンと切れ味をもたらしたのである。
って、ショットに従来よりも強いスピンと切れ
味をもたらしたのである。

その年の全米オープン（アメリカ版のクレーコ
その年の全米オープン（アメリカ版のクレーコ
ートであるハーツルー（ハートルーム）で行われた）で、中堅のプレーヤーであるマイク
ートであるハーツルー（ハートルーム）で行われた）で、中堅のプレーヤーであるマイク
・フィッシュバックがスタンスミスを相手に番狂わせを演じ、ITFはついにスパゲッティ・ガ
・フィッシュバックがスタンスミスを相手に番狂わせを演じ、ITFはついにスパゲッティ・ガ
ットを禁止した。この禁止に先立ち、イリー・ナスターゼは、エクサングランツのトーナメント
ットを禁止した。この禁止に先立ち、イリー・ナスターゼは、エクサングランツのトーナメント
でのヴィラスとの決勝戦でスパゲッティ・ガットを使用し、2セットを先取していた。激怒
でのヴィラスとの決勝戦でスパゲッティ・ガットを使用し、2セットを先取していた。激怒
した「バニバスの雄牛」（ヴィラスはアルゼ
した「バニバスの雄牛」（ヴィラスはアルゼ
チンのマスコミにこのように呼ばれていた）
チンのマスコミにこのように呼ばれていた）
は、コーティカ激しい勢いで立ち去り乘権抜き
は、コーティカ激しい勢いで立ち去り乘権抜き
とされた。
とされた。

現在に立ち戻ると、トップスピンを武器とする
現在に立ち戻ると、トップスピンを武器とする
もう1人の選手左ハンドのプレーヤー、ラファエル・ナダールがテニスを支配し、ガットに関
もう1人の選手左ハンドのプレーヤー、ラファエル・ナダールがテニスを支配し、ガットに関
する議論は再燃している。The Atlantic誌に掲載された素晴らしい記事の中で、ジョシュア
する議論は再燃している。The Atlantic誌に掲載された素晴らしい記事の中で、ジョシュア
スベックマンはコーティ・ガットによって生み出される異常なスピンについて書いていている。
スベックマンはコーティ・ガットによって生み出される異常なスピンについて書いていている。

ほとんどすべてのトッププレーヤーが使用し
ほとんどすべてのトッププレーヤーが使用し
ているこの新しいガットは、これまでよりもは
ているこの新しいガットは、これまでよりもは
るかに強力なスピンとラケットヘッド速度が得られる。スペックマンは、今日の強力なトップスピンと 1970 年代のスーパゲティ・ガットの類似性を指摘している。1978 年の ITF によるスーパゲティ・ガットの禁止は、テニスにおける技術革新を ITF が禁止した最初にして唯一のものであった。

訳者あてがき
日本語訳を掲載させていただいた Geoff Macdonald 氏と The New York Times のご好意に感謝する。
この記事の原文は以下の online で読むことができる。
（2011年10月1日確認）

（訳者注）
（2011年10月1日確認）
*4 この記事は正しくない。ラケットヘッド速度は必ずしも影響されない、ラケットの振りやすさに依存する。
（参考文献）
2) 川副嘉彦, テニスにおけるシミュレーションとラケット性能の予測, シミュレーション (日本シミュレーション学会誌), 第22巻1号 (小特集: スポーツ工学におけるシミュレーション), pp.3-9 (2003).

文献

- 40 -